

3 課 ^{してん うご しゅだん どうし つか かた じどうし たどうし つか わ} 視点を動かさない手段 - 1 動詞の使い方、自動詞・他動詞の使い分け

文章としてのまとまりを持たせるために、書き手はふつう、いつも同じ視点から物事を述べます。視点を動かさないようにするために、いろいろな手段が使われます。

視点 = 話者が物事を見ている位置
日本語では、視点を話者側に置くのが自然です。

A 話者を主語にする場合

◆ 次のような動詞を使った文で、動作主が話者のときは、話者を主語にして話者の視点から述べるのが普通です。

動詞の種類	例
ものが動作主から相手に移動することを意味する動詞	(~に~を) 譲る・渡す・預ける・授ける
動作や感情が動作主から相手に向かうことを意味する動詞	(~を) 捕まえる・いたわる・支持する・助ける (~に) 憧れる・頼る・反感を持つ・期待する
ものが相手から動作主に移動することを意味する動詞	(~から~を) 得る・預かる・授かる

◆ 動作主が他者で、動作や感情が他者から話者に向かうことを表すとき、話者を主語にして受身の形で述べることが多いです。→第3部5課

例・わたしは両親に期待されている。

* 話者と他者がお互いに相手に向けて同じ動作を表すときは「~合う」を使い、話者と他者の両方を主語にして述べる人が多いです。

例・わたしとカンさんは助け合って仕事をしている。

・わたしたちはいたわり合って生きてきた。



B 自動詞・他動詞の使い分け

動詞の種類	意味	例
他動詞	変化を起こす動作に注目	(電化が) 文化水準を高めた。
	失敗・責任	車をガードレールにぶつけた。 チャンスを逃した。
	慣用的表現	心臓が脈を打っている。 おなかを壊した。
自動詞	物の動き・変化に注目	文化水準が高まった。
	可能	トラックに全部の荷物が載るだろうか。 このロボットはもう動かない。
	動作の結果	針に糸を通そうとして、4回目にやっと通った。 作品ができ上がった。

練習1 どちらか適当な方を選びなさい。

- 政権の交代は我々国民にとっても大きな問題だ。影響を(① a 与える b 受ける)人は少ない。新政権には政治的影響を(② a 与えた b 受けた)責任をしっかりと考えて政治を行ってほしい。いつの時代も政治の影響を(③ a 与える b 受ける)のは、力を持たない普通の庶民たちだが、庶民がかろうじて影響を(④ a 与える b 受ける)立場に立てるのは選挙の時だけだ。
- (① a おなかを壊して b おなか壊れて)困っていたら、友達が薬をくれた。「ありがとう。(② a 助けたわ b 助かったわ。)」とお礼を言った。(③ a わたしには b 彼女には)いろいろな悩みを打ち明けている。大切な友達である。
- 「これ、しばらく(① a お宅に預けるよ b お宅で預かるよ。)」と親戚に言われて、うちでは大切な置物を(② a 預ける b 預かる)ことになった。しかし、ひとたび(③ a 災害を起こせば b 災害が起きれば)、うちだって安全かどうかわからない。早く(④ a 引き取ってほしい b 返してほしい)。



- 4 雑誌『生活の友』の8月号にわたしの(①a 作品が載る b 作品を載せる)から原稿を書いてほしいという出版社の依頼で、原稿を書き始めた。しかし、なかなか(②a 進まない b 進めない)。編集者に事情を話したら、(③a 締め切り日が3日延びてくれた b 締め切り日を3日延ばしてくれた)。今日、(④a その8月号が出た b その8月号を出した)という新聞広告を見たので、さっそく買って来た。
- 5 家事や育児は、夫婦の共同作業が望ましいということに(①a なっているが b しているが)、多くの場合、女性の負担の方が大きいのが現状だろう。わたしの場合もそうだった。特に(②a 小さい子供が育っている b 小さい子供を育てている)時期は、社会とのつながりが薄くなってしまい、どうしても孤立感を持ちやすい。わたしはツイッターというインターネットの(③a コミュニケーションサービスができてから b コミュニケーションサービスを作ってから)、この孤立感から抜け出せたような気がする。(④a 友人に教わった b 友人が教えた)のだが、これはインターネット上に短いメッセージをリアルタイムで投稿するシステムである。主婦たちの間で次第に(⑤a 広まっている b 広めている)。
- 6 (①a 科学技術が進んでも b 科学技術を進めても)人間は次々に(②a 起こる b 起こす)新たな問題に取り組みなければならない。特に科学技術の進歩により(③a 可能になった b 可能にした)人間の遺伝子操作は、大問題だ。「遺伝子というものは(④a 授かったものだ b 授けたものだ)」という発想は、時代遅れになりつつあるのだろうか。遺伝子組み換え技術はもとより、現在、人の命を奪う兵器の技術も、人の命を救う医療の技術も、その水準が(⑤a 高まってきている b 高めてきている)。こんな時代にあって、(⑥a 科学技術が次の世代にどう伝わるか b 科学技術を次の世代にどう伝えるか)が教育現場の課題であろう。
- 7 仕事のゴールはもうすぐだ、頑張れとわたしは自分に(①a 言い聞かせた b 言い聞かされた)。この1年、1日9時間は実験室にこもって仕事を続けようと(②a 決まって b 決めて)、その通りに(③a 守ってきた b 守られてきた)。研究室の同僚たちも同様である。(④a 励ますことで b 励まし合うことで)、(⑤a 頑張れた b 頑張りが合った)のである。(⑥a 研究成果が賞を受ける b 研究成果に賞を与える)としたら、チームワークの結晶だと言いたい。

【まとめ】 次の文章を読んで、文章全体の趣旨を踏まえて、 から の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

いまから17年ぐらい前に、ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)から、「識字教育のための

の のですが、やってくれませんか」という話がきました。識字というのは文字の読み書きや、簡単な計算能力のことで、文字が読めない人たちが、勉強することの大切さをアニメで知ってもらおう、というのが識字アニメ制作の企画意図です。

ACCUは、アジア地域において、有形・無形文化遺産の保護や、平和や教育の 活動をしていて、特に識字に。それは、アジア地域に6億もの字が読めない人がいて、その中の3分の2は女性だったからです。その人たちは文字が読めないために貧しい生活を強いられていました。そこでACCUが識字アニメ製作を企画したのです。

ぼくはこのような活動をきっかけにして、アニメーションが世界に のもいいんじゃないかな、と思ったので、その仕事をお引き受けすることにしました。アニメと関係のなさそうな一般の人たちのために、日本が得意とするアニメで のなら、こんなうれしいことはないと思いました。

(鈴木伸一『アニメが世界をつなぐ』岩波ジュニア新書による)

-
- 1 アニメができる 2 アニメを作りたい 3 アニメを頼む 4 アニメを頼まれる
-
- 1 大切さを広める 2 大切さが広まる
3 大切さが広められる 4 大切さが広まっている
-
- 1 力が入りました 2 力が入ってきました
3 力を入れていました 4 力を入れてありました
-
- 1 広げていく 2 広げてくる 3 広がってくる 4 広がっていく
-
- 1 お役に立つ 2 お役に立てられる
3 お役に立っている 4 お役に立っている